



2022年5月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 コ ロ ワ イ ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 尻 公 平
(コード番号 7616 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 瀬 尾 秀 和
(T E L 0 4 5 - 2 7 4 - 5 9 7 0)

**連結子会社における「通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」及び
「2022年3月期 個別実績値と前期実績値の差異に関するお知らせ」について**

当社の連結子会社である株式会社大戸屋ホールディングス（本社所在地：横浜市、代表者：代表取締役社長 蔵人 賢樹）におきまして、添付資料のとおり「通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」及び「2022年3月期 個別実績値と前期実績値の差異に関するお知らせ」を本日発表しましたので、お知らせ致します。

尚、当社の2022年3月期連結業績に与える影響につきましては、2022年5月11日に別途開示致しました「その他の営業費用（減損損失）、金融収益（為替差異）、及び金融費用（株式評価損）の計上並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以上



2022年5月11日

各位

会社名 株式会社大戸屋ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 蔵人 賢樹
(コード番号 2705 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 羽田 正貴
(TEL 045-577-0357)

通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2021年5月6日に公表致しました2022年3月期の通期連結業績予想と本日発表いたしました実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	22,990	433	416	840	116.00
当期実績 (B)	18,834	△594	△532	1,910	249.49
増減額 (B-A)	△4,156	△1,027	△948	1070	—
増減率 (%)	△18.1%	—	—	127.3%	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	16,139	△3,343	△3,368	△4,669	△659.27

2. 差異が生じた理由

2021年5月6日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想につきましては、第一四半期から第三四半期にかけて、正常需要下における売上と比し、70%の水準から徐々に回復し、以後において収益が正常化すると見込んで業績予想を策定いたしました。しかしながら、度重なるまん延防止等重点措置および緊急事態宣言の発令等に伴い、行政の要請に基づく営業時間短縮等の感染拡大防止の取り組みを行った結果、来店客数が見込みに届かず、売上高、営業利益、経常利益が下回ることとなりました。

以上



2022年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社大戸屋ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 蔵 人 賢 樹
(コード番号 2705 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経営管理本部長 羽 田 正 貴
(TEL 045-577-0357)

2022年3月期 個別実績値と前期実績値の差異に関するお知らせ

当社は2022年3月期個別実績値と前期実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期個別実績と前期実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A) (2021年3月期)	957	△554	△748	△924	△142.11円
今期実績 (B) (2022年3月期)	1,252	239	188	325	30.44円
増減額 (B-A)	294	793	937	1,249	—
増減率 (%)	30.8	—	—	—	—

2. 差異の理由

当事業年度におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響はあったものの、事業会社における段階的な売上回復によるロイヤリティ収入の増加および余剰コストの削減等を行ったことにより、売上高、営業利益が増加いたしました。また、今後の業績見通しを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益が増加いたしました。なお、連結業績につきましては、2022年5月11日公表の「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以 上